

代表質問

会派自民党



選挙区 八頭郡
福田 俊史 議員

知事公約の達成状況

問 平井知事が掲げられた公約「チャレンジ70」の達成状況を問う。

答 公約の中、心課題であった移住定住策についても4000人の目標に対し、7055人を達成するなど、全体の97%ほどは達成ないし達成見込みと分析している。

生涯スポーツの推進

問 健康寿命を延ばすためにも生涯スポーツの取組みや支援は大変重要だ。2021年のWMG(※)では、湯梨浜町がグラウンドゴルフの主会場になると思うが、県内の公認コースを回るような大会を同時開催し、県内を周遊することを検討しては。また、県内公認コースの施設の充実を図り、聖地化に向けた取組みを市

町村と連携して進めては。

答 WMGをにらんで、八東川水辺プラザなど県内のグラウンドゴルフ場の周遊も可能だと思う。情報提供や誘導を考える必要がある。トイレの洋式化などグラウンドゴルフの聖地化に向けた施設整備は市町村の要望を聞きながら検討したい。

新たな森林管理システム

問 平成31年4月からスタートする新たな森林管理システムは、林業の成長産業化と森林の適切な管理に大きく関わる重要項目であるが、市町村の実行体制の整備は順調に進んでいるのか？

答 現在、八頭中央森林組合をはじめ、県内森林組合と話し合いを進めている。智頭や若桜、日南等には県職員を含めた人員配置に協力しているが、必ずしも全市町村が全て整ったという状況ではない。年度末までに体制が整うよう人員派遣も含めてやっていきたいと考えている。

農業生産1千億円に向けて

問 本県の農業生産1千億円達成プランが平成30年3月に策定され、10

年後の達成に向け、官民挙げて取組みを強化する方針が示された。産地における将来ビジョンづくりや後継者の育成等1千億円達成に向けての現在の取組状況は？

答 福田議員の提案から園芸産地継承のモデル事業をスタートした。現在は、八頭の果実部や倉吉のスイカ生産部などで人材の募集や農地の管理等に着手されており、1千億円達成に向けて現場が動き始めている。

鉄道を活用した観光誘客

問 2015年4月に行われた若桜鉄道S1社会実験では1日で1万3千人近くの人が集まり沿線に多くの賑わいを創出した。若桜鉄道は観光面で広域的効果が見込めることから、県は沿線自治体と連携し、S1走行を真剣に検討してみてもどうか。

答 S1走行社会実験は大変な賑わいで、鳥取市内の宿がいっぱいになるなど地域全体に波及効果があった。まずは沿線の若桜町と八頭町、鳥取市で協議していただき、県も広域団体としてその議論の結論を伺い、役割分担を考えることになる。

2巡目国体

問 2巡目国体に向けて、会場となる施設整備をどう進めていくのか。

答 現在他県を調査中だが、市町村

の施設も含め、改修事業はそれぞれの県で支援措置を講じているケースが多いようだ。八頭町のホッケー場の場合も国体を視野に入れて整備される時は、県として応分の役割を果たすことは従来申し上げているとおり。まずは議論を地元でまとめていただくのが先決だと思う。

県立高校の魅力化

問 近年、多くの県内の中学3年生が県外へ理想の高校を求めて流出している。その目的の大半がスポーツだ。今こそ体育コースのある県立鳥取中央育英高校や八頭高校などに有名指導者の配置や寮を整備するなどして、県内外から生徒を受け入れ、強化に取り組むべきでは。

答 (教育長) 現在、鳥取中央育英高校と八頭高校に体育コースを設置し、県内外から優秀な選手を獲得し、競技力の向上や学校の魅力化に努めている。特に県外から生徒を募集するには、住まいなど生活環境を整備することが必要であり、県外から子どもん生徒が来ることになれば寮のニーズも出てくると思う。引き続き地元自治体とも連携しながら、様々な形で受入れ環境の整備を進めていきたい。

※WMG・・・ワールドマスターズゲームズの略。生涯スポーツの国際総合競技大会で4年ごと(オリンピックの翌年)に開催される。次回2021年には日本(関西各地が開催地)で開催される。